

藤岡作太郎

國文學者、文學博士。明治二年七月十九日加賀國

生れ、四十一年（明治三十四年）一月二十日没（八〇一九一〇）。號布地遠香、李花亭、枕
杷園、東圃、東圃生人、東圃生、岸涯逸人、吉爾生、遲速山人、遲速
散人、耽言生等。明治十七年帝國大學文學科大學國文學科卒業。第廿四
等學校教授を経て、二十二年東京帝大助教授。物理學者藤岡由夫の父。

『藤岡作太郎博士集』全四卷（昭和）十一年十一月廿一日—二十年

（一月二十日岩波書店）刊。

著書『日本文學史講話』（正再版・明治二十四年十一月）、『十六日

東京開成館』、『近世繪畫史』（明治二十六年六月）、『十七金港圖書籍

株式會社）、選用齋空阿著『後著水滸傳』（校訂、明治二十六年九月

、一十七『山房「名著文庫」』）、『國文學全史・平安朝篇』（明治二

十八年十月一日東京開成館。再刊・大正十一年一月八日岩波書店）、

『興本山家集一附西行論』（校及著、明治二十九年十月）二十一『日本鄉

書院』、『國文學史講話』（明治四十一年二月十五日東京開成館。再

刊・大正十一年一月十五日岩波書店）、『近世繪畫』（藤岡東圃著、合

著・大正桂月・篠川鶴洋・樋口龍岐編、明治

四十一年一月五日岩波有倫堂）、

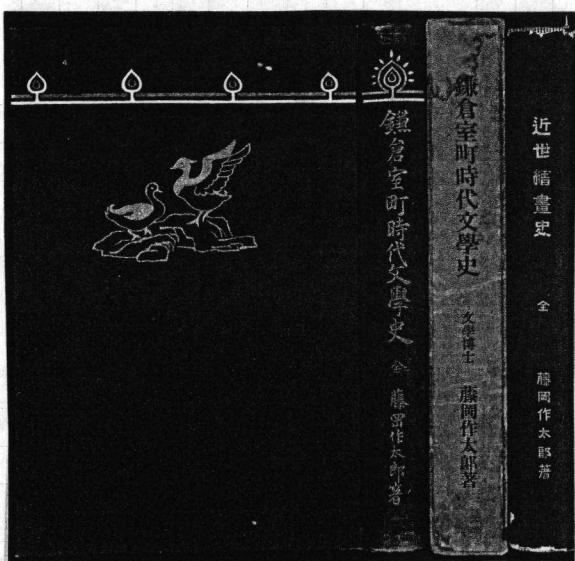
『平出鑑』（即著『近古小說解題』（補、

書株式會社）、『東圃遺稿・卷一』

（日本文學史論史）』（井村忠次著、

國文學之風俗）』（藤井弘次著、

明治四十四年六月）、二十一『大倉書



『東園遺稿卷四』（同、大正四年五月）十一（由大倉書店）、『近代小説

史（東園遺稿卷四）』（同、大正六年一月）十二（由大倉書店）等。

文献『藤岡東園追憶錄』（昭和二十七年十一月）（由藤岡由夫編刊）。